

宇都宮市立星が丘中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○[自分にはよいところがありますか]という問いに対し、肯定的回答が84%あり、県や全国の平均より、それぞれ5.6%、9.9%高くなっている。また、「物事を最後までやりとげてうれしかったことがありますか」(95.8%)「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか」(77.5%)などの問いについても肯定回答の割合が県や全国と比べ高くなっており、本校生徒は自己肯定感を持ち、意欲的に物事に取り組んでいることが分かる。

●しかし、「将来の夢や目標をもっていますか」については肯定的回答は72.9%だが、夢や目標を見つけれずにいる生徒も27.1%おり、3年生として進路等を考えていく時期において生徒への支援が必要になってくる。

○「外国の人と友達になったり、外国の事についてもっと知りたいと思いますか」(69.8%)「日本やあなたが住んでいる地域の事について、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」(69.9%)などについて肯定割合が県や全国を上回っており、外国の人とのコミュニケーション意欲が高い。これは「1・2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなどまとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」について86.3%(県や全国より9%高い)が肯定していることから見て、授業での経験がコミュニケーション意欲の向上につながっているといえよう。

●しかし、「英語の授業はよくわかりますか」に対しては肯定割合が61.1%でこれは県や全国より4～5%低い。英語のテストの正答率が高い割には「どちらかという当てはまらない、当てはまらない」と回答する生徒が目立つ。英語が苦手な生徒への細やかな指導や、より高い英語力を身につけようという生徒の意欲に対し英語科はもとより学校全体でさらなる学力の向上に努めていく。

宇都宮市立星が丘中学校中学校（第3学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・自分の考えを進んで表出する生徒の育成 ・ねらいを共有し、目的をもって学ぶ生徒の育成	・各普通教室、特別教室に話し合い活動用のホワイトボードを置き、生徒が考えを練り合う時や意見をまとめて発表するときに活用している。	「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の問いに対しての肯定的回答は78.2%となり昨年度より6ポイント上昇した。その結果、県の平均と同等、全国と比べると5.4%上回るようになった。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「1. 2年生の時に受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか」の問いに対する肯定的回答の割合が全国より上回っているものの県に比べると3.4%下回っている。	道徳授業における話し合い活動の充実	「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること」についての成果が出てきているので、道徳においても授業方法を工夫し、生徒の道徳性を成長させるような授業を行う。